



約八キロの濃脚を終え、八橋道
前に到着。最後の手綱めで、三
年に一度の豪華濃脚は大きな会
講を残しつつお開きになります。

禁りはいよいよ厳戒用。永代橋を通じ最初の見せ場は佐賀町名物のトラックからの豪快な水掛け。永代出張所前では消防団による滝のような放水。不動堂前では宮元のトラック水掛けが待っています。

見食を終えて出先です。ここからは木造り、手古舞がつま神萬清額を先導します。永代橋は子孫最初の見どりなのです。

午後のクライマックスへ向けて
進む。リラックスした相
手達の姿が見られます。

4 溝筋通りから酒類横通りへ、酒
灘交差点では差し上げ、舞い上
げといった技がみられます。酒
灘橋を差して渡る神岡も豆も
の。

②
木場から大門通りを北へ、各町
内の面神酒所前はより一層盛り
上ります

1 早朝より各町の神前五十三基が
永代通りに集結、「ヒノヒノ」
出発の花火が鳴り響くと、いよいよ
いよ連合渡御の始まり。